



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月27日

上場会社名 日本精線株式会社

上場取引所 東

コード番号 5659 URL <https://www.n-seisen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 利光 一浩

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長澤 修一

TEL 06-6222-5432

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日

配当支払開始予定日

2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,755	12.0	1,625	16.3	1,742	14.6	1,221	13.7
2023年3月期第2四半期	24,712	15.4	1,942	18.5	2,039	17.5	1,416	18.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,551百万円 (15.6%) 2023年3月期第2四半期 1,838百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	199.24	
2023年3月期第2四半期	230.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	53,669	38,503	70.6
2023年3月期	54,054	37,605	68.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 37,916百万円 2023年3月期 37,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		105.00		105.00	210.00
2024年3月期		105.00			
2024年3月期(予想)				105.00	210.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,700	10.9	3,000	28.2	3,100	28.2	2,170	29.7	353.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	6,253,038 株	2023年3月期	6,253,038 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	119,667 株	2023年3月期	120,250 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	6,133,092 株	2023年3月期2Q	6,132,977 株

当社は、「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界経済は、高インフレが収束したものの緩やかな経済減速傾向がみられるほか、中国でも雇用環境悪化や不動産不況によって景気の減速が進んでいます。日本経済については、インバウンド需要や設備投資が底堅いものの、海外経済の減速や半導体市場の低迷の影響を反映し、景況感の先行きに対する不透明感が大きくなってきています。

このような事業環境の中で、当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）は2024年3月期を最終年度とする『中期経営計画（NSR23）』において、「日本精線リニューアル（NSR）継続推進と高機能・独自製品でサステナビリティに貢献」を中期スローガンとして掲げ、高機能・独自製品の販売に注力して企業価値向上に努めております。

結果として当第2四半期連結累計期間の売上高は、217億55百万円（前年同期比12.0%減）となりました。損益については、太陽光発電パネルなどの製造プロセスで使用される極細線に対する需要の強さは継続したものの、流通在庫の調整を受けたステンレス鋼線の販売量減少による操業度損増加や、これまで収益の牽引役だった半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（NASclean®）の受注減少によって、減益を余儀なくされました。この結果、営業利益16億25百万円（同16.3%減）、経常利益17億42百万円（同14.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億21百万円（同13.7%減）となりました。

製品別の売上状況は次のとおりです。

[ステンレス鋼線]

ステンレス鋼線においては、2022年度上半期の販売量はニッケル価格上昇を見込んだ駆け込み需要が発生し月当たり3,412トンと高水準の推移を維持するも、自動車用途や建材用途の荷動き鈍化が鮮明となり過剰在庫の調整が生じたことから下半期平均2,955トン（上半期比13.3%減）となり、さらに2023年度第2四半期連結累計期間も調整が長期化したため月当たり2,587トン（前年同期比24.2%減）となりました。一方、太陽光発電パネルの製造プロセスで使用されるスクリーン印刷向け極細線は、お客さまの細径化ニーズに応える高付加価値製品として好調な受注を確保しました。

なお、LMEニッケル価格については、2020年度第1四半期から右肩上がりの傾向となっていました。ウクライナ情勢の影響もあり2022年度の平均価格がポンド当たり11.63ドル（前期比平均に比してポンド当たり2.28ドル上昇）と急激に上昇しました。2023年度第2四半期は2023年7～9月の平均価格でポンド当たり9.23ドル（2023年4～6月平均に比してポンド当たり0.93ドル下落）と下降に転じました。

結果として、当第2四半期連結累計期間におけるステンレス鋼線全体の月平均販売数量は大幅に減少（前年同期比24.2%減）したものの、ニッケル価格高騰による販売単価上昇や極細線の販売増によって売上高186億23百万円（同8.6%減）の減少幅を低減することになりました。

海外現地法人であるTHAI SEISEN CO., LTD. 及び大同不銹鋼（大連）有限公司についても、ステンレス鋼線の販売数量が低迷し、減収となりました。

[金属繊維（ナスロン®）]

金属繊維においては、半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（NASclean®）に対する需要が調整局面となりました。その背景には、DRAMやNAND型フラッシュメモリの価格低迷により半導体メーカーが設備投資を先送りしはじめたことが影響しています。2022年度下半期の月当たり売上高が3億82百万円と高水準の推移を維持するも、2023年度第1四半期は月当たり3億9百万円となり、さらに第2四半期も調整が継続したため2023年度第2四半期連結累計期間の月当たり売上高は2億98百万円（前年同期比30.8%減）となりました。

ナスロン®フィルターについては、ポリエステルフィルム用途の販売が減少したことに加え、ゼロコロナ政策転換による感染症急拡大によって経済活動に大きな制約を受けた耐素龍精密濾機（常熟）有限公司が低迷したため、2023年度第2四半期連結累計期間の月当たり売上高は2億23百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

結果として、当第2四半期連結累計期間における金属繊維部門の売上高は31億32百万円（前年同期比27.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は536億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億84百万円減少しました。流動資産は現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ6億72百万円減少しました。固定資産は有形固定資産の増加などにより、2億88百万円増加しました。

負債は151億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億82百万円減少しました。流動負債は支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ13億17百万円減少しました。固定負債は退職給付に係る負債が増えたことなどにより34百万円増加しました。

純資産は385億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億97百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億59百万円減少し、137億62百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ6億59百万円増加し19億23百万円の収入となりました。これは、主に売上債権の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ5億58百万円支出が増加し16億7百万円の支出となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ25百万円支出が増加し7億98百万円の支出となりました。主な要因は、短期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年4月27日に公表いたしました連結業績予想から変更しております。詳細につきましては、2023年10月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,657	14,325
受取手形及び売掛金	8,810	8,073
電子記録債権	1,340	1,697
商品及び製品	2,871	2,951
仕掛品	5,080	5,159
原材料及び貯蔵品	3,280	3,265
その他	291	186
流動資産合計	36,332	35,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,380	5,425
機械装置及び運搬具(純額)	6,623	6,865
土地	1,646	1,654
リース資産(純額)	16	26
建設仮勘定	1,342	1,250
その他(純額)	590	579
有形固定資産合計	15,601	15,801
無形固定資産	202	191
投資その他の資産	1,918	2,016
固定資産合計	17,721	18,009
資産合計	54,054	53,669
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,660	6,884
短期借入金	315	259
未払法人税等	540	629
賞与引当金	703	741
役員賞与引当金	33	-
その他	1,759	1,179
流動負債合計	11,012	9,694
固定負債		
長期借入金	338	257
役員株式給付引当金	33	52
退職給付に係る負債	4,739	4,841
環境対策引当金	172	171
その他	153	148
固定負債合計	5,436	5,471
負債合計	16,448	15,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,558	5,558
利益剰余金	26,201	26,774
自己株式	△400	△398
株主資本合計	36,359	36,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	23
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	765	1,037
退職給付に係る調整累計額	△95	△77
その他の包括利益累計額合計	686	982
非支配株主持分	559	586
純資産合計	37,605	38,503
負債純資産合計	54,054	53,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	24,712	21,755
売上原価	21,023	18,400
売上総利益	3,689	3,354
販売費及び一般管理費	1,746	1,729
営業利益	1,942	1,625
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	1	1
仕入割引	11	10
受取補償金	16	9
受取賃貸料	12	12
為替差益	62	57
雇用調整助成金	-	33
その他	4	4
営業外収益合計	112	135
営業外費用		
支払利息	1	2
支払補償費	8	10
固定資産除却損	1	2
その他	3	3
営業外費用合計	15	18
経常利益	2,039	1,742
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券清算益	2	-
特別利益合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	2,042	1,743
法人税、住民税及び事業税	622	552
法人税等調整額	△22	△37
法人税等合計	600	515
四半期純利益	1,441	1,228
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,416	1,221

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,441	1,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	6
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	382	298
退職給付に係る調整額	19	18
その他の包括利益合計	396	322
四半期包括利益	1,838	1,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,767	1,517
非支配株主に係る四半期包括利益	71	33

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,042	1,743
減価償却費	792	832
投資有価証券清算益	△2	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	209	108
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△57	-
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	14	18
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	37
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	△33
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△4	△8
支払利息	1	2
為替差損益 (△は益)	△48	△42
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△1
有形固定資産除却損	1	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△181	449
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,593	△38
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,303	△876
その他	△182	202
小計	2,272	2,397
利息及び配当金の受取額	3	5
利息の支払額	△1	△2
法人税等の支払額	△1,010	△476
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,264	1,923
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△43	△156
定期預金の払戻による収入	43	157
有形固定資産の取得による支出	△1,025	△1,509
有形固定資産の売却による収入	4	1
その他	△27	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,049	△1,607
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△61
長期借入金の返済による支出	△89	△81
リース債務の返済による支出	△3	△4
自己株式の売却による収入	247	3
自己株式の取得による支出	△248	△0
配当金の支払額	△673	△648
非支配株主への配当金の支払額	△6	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△772	△798
現金及び現金同等物に係る換算差額	174	123
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△383	△359
現金及び現金同等物の期首残高	14,928	14,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,545	13,762

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。